

平成22年度第2回東京都地方独立行政法人評価委員会 議事要旨

- 1 日 時 平成22年7月9日(金) 午後4時から午後5時まで
- 2 場 所 第一本庁舎33階北側 特別会議室N6
- 3 出席委員 示村委員長、天野委員、池本委員、泉澤委員、板生委員、奥田委員、河原委員、鈴木委員、高久委員、内藤委員、南委員、吉武委員、和田委員
(委員長を除き、五十音順)
- 4 議 題
 - (1) 審議事項
地方独立行政法人東京都立産業技術研究センター第二期中期目標に関する意見聴取
 - (2) その他
- 5 議事概要
 - (1) 審議事項
地方独立行政法人東京都立産業技術研究センター第二期中期目標に関する意見聴取
 - 事務局から資料3「地方独立行政法人東京都立産業技術研究センター第二期中期目標(案)の基本的考え方」により中期目標について説明
 - 中期目標について専門的見地からの助言、提案を含めた意見交換等を行い、委員会として原案どおり了承

【意見要旨】

- ・ 都民の健康・福祉、環境、安心・安全といった問題の解決や生活の向上に資するサービス産業を育成していくため、産業技術研究センターがサービス分野のイノベーションを加速させる役割を果たすことは、新たなかつ重要な目標である。
- ・ 社会が何を欲しているか、どう社会のイノベーションをすすめていくか、また、その時、技術はどうあるべきかといった課題まで踏み込むため、技術を研究するだけでなく、その技術を社会に定着させることができる人材を育成していくことが必要である。

- ・ サービス産業の生産性をどう向上させ、付加価値をつけるか、シーズからだけではなくニーズからとらえてどう具体的なビジネスにしていくかについて、産業技術研究センターを核に首都大学東京等の機関と連携するなど、いろいろな機能を組み込みながら、多面的にすすめることも検討すべきである。
- ・ 成果、生産性を上げるためにも、産業技術研究センターの研究による経済効果の測定や組織内でのセグメント別の成果やコストの把握に取り組んでいくべきである。
- ・ サービス産業に対象を広げることはいいことだと思うが、サービス産業の現場のニーズと産業技術研究センターをつなぐ場をつくらないとなかなか進まない。例えば健康長寿医療センターといった介護や高齢者医療の現場など、技術開発に向けて連携していく具体的なターゲットを中期計画を立てる中で考えてもいいのではないかな。

【委員長から】

- ・ 本日の委員会での貴重な意見については、とりまとめのうえ、今後の議会への説明や、産業技術研究センターへ第二期中期目標を指示する際にあらためて、伝えていただきたい。

(2) その他

- 事務局から今後のスケジュールについて説明
- ・ 中期目標について、平成22年第3回都議会定例会に提出予定